



2018年4月1日発行  
(毎月1日・1回発行)  
1988年1月27日第3種郵便物認可  
定価50円  
発行/公益財団法人横浜YMCA  
広報センター  
〒231-8458  
横浜市中区常盤町1-7  
Tel 045-662-3721

横浜青年

# YMCA News



## 3・11をわすれない：つながる 東日本大震災から7年

東日本大震災の発生から3月11日で7年を迎えた。死者は1万5895人(警察庁)、行方不明者は2539人、震災関連死は3647人にのぼる。現在も約7万3千人が全国で避難生活を続けている(復興庁)。横浜YMCAでは、3月11日の前後において「3・11をわすれない：つながる」をテーマに各YMCAにおいてイベントや街頭募金が行われ、これからの支援について考えた。

3月9日には、「被災地で出会った人びとの今」をテーマに『つなみ被災地の子ども80人の作文集』(文藝春秋)に関する取材を行っている森健氏を招いて講演会を開催した。森氏からは震災直後の様子や1、2年経過した際の様子、その後の子どもたちや保護者たちの思いなど



▲76人のYMCA保育園の子どもたちが仙台まつり宝山とともに「すずめ踊り」を披露



▲森健さんが子どもたちの現状を語った3.11講演会

が語られた。森氏は「時間の経過とともに、地域の様子や復興の進行も変化し、求められる支援も変わってきている。現地の人と触れ合うことで必要な支援がみつかるのではないかと語り、参加した48人がそれぞれの場でこれからの支援について考えていく。

11日には、各YMCAにおいてバザーや物産展、街頭募金などが行われたが、このうち、戸塚地域のYMCAの保育園4園(とつか、東とつか、山手台アルク、いずみ)では「東日本大震災復興支援仙台すずめ踊り」をJR戸塚駅2階ペDESTリアンデッキ広場において披露した。仙台まつり宝山による「すずめ踊り」の演舞に続き、保育園の子どもたち、戸塚地域の鳥が丘踊りの会による演舞、まつり宝山と保育園の子どもたちの合同の演舞が行われ大きな拍手がおこった。この「すずめ踊り」の取り組みは、2011年震災の年の秋にYMCASA山手台保育園アルクの保育士たちが被災地の子どもたちとともに応援したいと考え、これまで運動会でソーラン節を踊っていたが、仙台のすずめ踊りを踊ることにした。現地に5人が向かい練習し、保

### 東日本大震災復興支援チャリティー 福島の子どもたちを招いてプロ野球観戦

東日本大震災での原発事故により福島県などから神奈川県内に避難(移住)している子どもたちとその家族に楽しいひとときを過ごしてもらおうと今年もプロ野球観戦に招待する。5月29日(火)に行われる交流戦・横浜DeNAベイスターズ対東北楽天ゴールデンイーグルス戦に100名を招待する予定。趣旨に賛同して下さる方がチャリティー応援チケットを購入することで支援につながる。今年で6回目となるがチケットの販売は4月中旬からの予定。



### 今後予想される大規模災害への備え アフタースクール合同スタッフ研修

東日本大震災や熊本地震を教訓に、関東地方での大規模災害に備えようと横浜YMCAでは現地のYMCAから学ぶ機会を設けている。3月5日には、アフタースクール事業合同のスタッフ研修会として熊本地震の緊急支援活動に尽力した熊本YMCAの丸目陽子スタッフを招いて避難所運営時の対応やこれからの備え、子どもたちへの対応について学んだ。横浜YMCAでは、2018年度も今後予想される大規模災害への備えにつながる取り組みを進める。



育園に戻り子どもたちと練習を重ね運動会で披露したのがはじまりとなった。その後、毎年運動会で披露し、以降とつか、いずみ、東とつかの保育園に広がった。

2011年の東日本大震災発生直後から横浜YMCAでは、街頭募金やスタッフ・ボランティア派遣などの支援活動を展開した。現在も子どもたちを招待するキャンプや現地への訪問ツアーなどを継続している。2011年から2018年2月までの東日本大震災復興支援募金は80,906,178円が寄せられている。横浜YMCAでは今年度も引き続き支援活動を継続していく。(関連記事3面)

## ホドス

今年1月2日の夜、見事な十五夜の月を見ました。光害が少ない都会住まいの身は夜空を見上げる機会が少なくなっていますが、この日の満月は光害に負けず天空を圧して印象的でした。普段の月より三割方大きい「スーパームーン」です。今年2回目の満月、31日には皆既月食を見ることができました。天文ファンには幸先良い年です▼月、地球、太陽の相互位置により、月の満ち欠け、見かけの大きさや位置が変化する現象、さらには潮の干満との関連は望遠鏡等の特別な器具を用いず観測できます。それ故、エジプトやメキシコ等の古代文明時代の人類も現代人と同様の知識を持っていました。彼らの残したピラミッドからも一端が伺えます▼彼らは星の運行についても、長期間の粘り強い観測により多くの事実を知っていました。その記録を現代人は天文学に生かしています。恒星と惑星の差違とそれらの運行の知識は占星術にも活用されています▼太陽の運行と気候の関係も古代人は良く知っていました。毎年繰り返す春分、夏至、秋分、冬至。農事や生活に密接するこれらの知識はほとんどの古代文明が持っていました。これらは現在使用されている暦の基礎となっています▼古代人は無知、未開と思われがちですが、種々の天文現象解明の端緒を提供してくれました。現代人が享受している科学技術は、彼らの長期間の努力、探究心なしには得られないということを忘れてはなりません。(美)

# YMCA NETWORK NEWS

横浜  
想いを胸にはば  
たく専門学校生

3月に横浜YMCAの保育園、高等学院で卒業式や卒業式が行われた。3月17日には、YMCAの4つの専門学校(横浜YMCA学院専門学校、YMCA健康福祉専門学校、横浜YMCAスポーツ専門学校、YMCA福祉専門学校)の合同卒業式が県立音楽堂(横浜市西区)にて行われ187名の学生が卒業した。



いまなぎしのもとで今までを立ち返ることで将来が見えてくる。その将来に向かって歩んでほしい」とメッセージを贈った。引き続き、卒業生一人ひとりの名前が読み上げられ、各校長から卒業証書が授与された。卒業生を代表して横浜YMCAスポーツ専門学校の廣瀬莉帆さんがこれまでの学生生活を振り返り感謝のあいさつを行い、それぞれの思いを胸に社会へ踏み出した。

## Topics

### 大規模地震等の災害発生時 プールの水を消火用に活用

湘南とつかYMCA

大規模地震等の災害発生時に消火栓が使用できない場合を想定し、消火用水を確保するために戸塚消防署と湘南とつかYMCAにおいてプール用水の活用に関する覚書を締結しました。

3月1日には、湘南とつかYMCAプールと駐車場において戸塚消防署と湘南とつかYMCAによるプール用水の給水と放水訓練が行われたほか、戸塚消防署と湘南とつかYMCAによる覚書の締結式が行われ、名取正暁戸塚消防署長と湘南とつかYMCA大高聡館長によって取り交わされました。また、消防団より湘南とつかYMCAへ「横浜市消防団協力事業書表示」が授与されました。湘南とつかYMCA大高聡館長は「災害はないにこしたことはないが、万一の際には、地域にあるYMCAとしてプールの水を活用することにより地域貢献を果たしたい」と語りました。訓練や締結式の様子は8日のエフエム戸塚で紹介されました。



▲消防団員らによるプールの水を利用した放水訓練

## 川崎・登戸に外国人人材 養成の学科を新たに開設

地域の観光資源の創生と魅力発信のできる人材に



▲多文化共生の社会をつくる担い手を育てていくYMCAの専門学校

ビジネスの基礎や日本語を高める科目(ビジネス日本語・ホスピタリティ、ホテルマネジメント)、観光業界における即戦力となる資格取得(レストランサービステクニカル検定、接客、国内観光地理)などホテル業や観光業界などの就労に必要な知識や技術を身につけた人材を養成する。

日本の専修学校(専門課程)において学ぶ留学生は、5万8千人を超え、前年度よりも8千5百人以上の増加があった。大学院や大学、日本語教育機関などを含めると26万7千人を超える(日本学生支援機構統計)。また、ここ数年間に日本では、インバウンド(訪日外国人旅行者)が250万2千人(2018年1月同推計値)と報告され、今後も大幅な増加が見込まれている。

横浜YMCAでは、このようなニーズに応え、グローバルに市場化する観光産業を支援、日本文化を正しく世界に発信し、地域における観光資源を創生し、地域独自の魅力を伝えることのできる人材育成を目的として、これまで成を目指すために、これまでのYMCA福祉専門学校の校名と学科構成を変更し、YMC A国際ビジネス専門学校(川崎市)とし、観光ビジネス科(2年制)と日本語学科(1年制/2年制/1.5年制)を4月から開設した。

横浜YMCAの日本語学科は、1988年に横浜YMCA学院専門学校(横浜市中区)に開設、2010年には、YMCA健康福祉専門学校(厚木市)にて日本語教育を開始し、3校目の開設となった。これらの人材養成は、社会の課題となつていく労働人口の減少に対応し、外国人人材を受け入れていく方向にある中で、日本語学校の果たす役割は大きい。知識や技術の修

## 日本語スピーチコンテスト 互いの文化学び交流深める



▲日ごろの学びの成果を発揮する留学生

2月23日には、横浜YMCA学院専門学校が「第5回日本語スピーチコンテスト」(横浜ワイズメンズクラブ共催)を横浜中央YMCAにて開催し、YMCA東京日本語学校、YMCA健康福祉専門学校

の日本語学科では、中国、ベトナム、台湾、韓国、フィリピン、タイ、インドネシアなど22の国と地域から150名を超える留学生たちが学んでいる。

者を含む10人が出場した。スピーチは「私が考える教育とは」「近くの他人」などのテーマで発表があり、最優秀賞には「笑顔の力」と題して、母国カメルーンの人と日本人の笑顔について発表したチャリ・エリックさん(横浜YMCA学院専門学校)が選ばれたほか、優秀賞にパク・ジンさん(韓国)、共立メンテナンズ賞にハウ・ナイ・リアンさん(ミャンマー)、神奈川県国際交流機構賞にクワン・チュウ・イエンさん(台湾/横浜YMCA学院専門学校)が選ばれ表彰状と記念品が贈られた。

## 今月の「平和の川柳」

笑顔とは  
平和に近づく  
一歩かな  
ペンネーム スノーピーさん (厚木YMCA)

## ♪子育てランド♪楽しい食体験を

苦味や酸味のある野菜などを苦手だと感じ、好き嫌いをする子どもは多くいます。その理由としては、子どもの舌に食べ物の味を感じる器官である「味蕾(みらい)」の知覚能力が大人の2倍以上あるため、大人よりも敏感に味を感じるのです。

苦味な味でも乳幼児期のさまざまな食体験によって味覚が発達し、ある時、急に食べられるようになることもあります。子どもの苦手な食べ物を無理に食べさせることは、かえって子どもの苦手とする気持ちを強めてしまうかもしれま

せん。食卓から子どもの苦手な食材を完全に失くしてしまうと経験の不足から、余計に苦手になることがあります。食卓には子どもの好き嫌いにかかわらず、さまざまな食材が登場させ家族で楽しく食卓を囲み、好き嫌いによりあまり神経質にならずに根気よく付き合ひましょう。

嫌いなものを食べられた時は、大いに褒め、楽しい食体験を重ねることで好き嫌いも少しずつ減っていくことにつながると思います。(YMCAマナ保育園栄養士 岩本菜穂美)

和な社会づくりの担い手としての人材養成を進めていく。問い合わせは ☎044(933)2015。

### 賀須 児童養護施設の の日常を知る



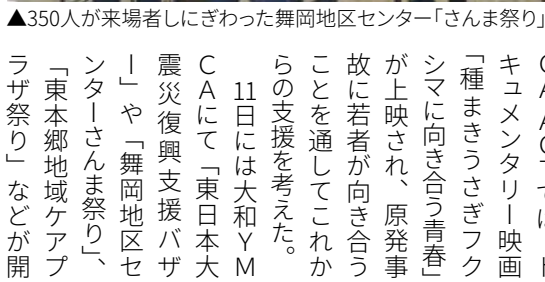
埼玉県にある児童養護施設の8年間をドキュメンタリーとした「隣人」の上映会(「隣人」横須賀上映会実行委員会主催・横須賀YMCA協力)が2月17日、20日に横須賀YMCAで開催され124人が鑑賞した。

映画では、さまざまな事情で保護者とともに暮らせない子どもたちが保育士と生活を共にしている日常を追っている。さまざまな出来事を通して、子どもたちや保育士、親の揺れる心や葛藤などさまざまな思いが伝わっている。「施設の現状を多くのの人に知ってもらいたい」と理事を務める稲塚由美子氏は述べた。

## 3.11をわすれない…つながる 各地でイベントや街頭募金実施 東日本大震災復興支援活動を新年度も継続



「3・11をわすれない…つながる」をテーマに各YMCAでは、イベントや街頭募金を行った。3月4日には、湘南とつがYMCAにて「チャリティコンサート」が行われ、戸塚区にゆかりのある演奏者が80名の参加者とともに被災地へ思いを馳せた。



▲350人が来場しにぎわった舞岡地区センター「さんま祭り」

10日には、踊場地区センターにて「楽しいコンサート」歌・ソプラノ編と仙台すみれ踊りを開催し、地域の人が約200人が訪れ、仙台まつり宝山による「すみれ踊り」や宮古市かのけあし会による東北物産展が行われ東北への思いを共にした。同日にYMCA ACTでは、ドキュメンタリー映画「種まきうさぎフクシマ」にむき合う青春が上映され、原発事故に若者が向き合うことを通じてこれからの支援を考えた。

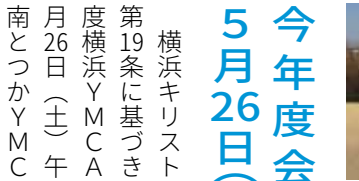


▲壁材にホタテパウダーを使用、床は年月が経つほど味わい深くなるように作られた

### 出会いと学び豊かに育まれる場に 富士山YMCA 研修棟 献堂式

富士山YMCA 10周年事業準備委員会(茂木雄委員長)は、6つの記念事業の一つである多目的研修棟が完成し、3月10日に富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジにおいて献堂式を行った。会員や理事・常議員、ワイズメンズクラブなどから参加者44人とともに完成を祝った。第一

日本基督教団富士宮教会の柳澤光子牧師が「研修棟での子どもたちや青年たちの学びが平和を創る担い手として育まれ、地域に還元してほしい」とメッセージがあった。第二部では、建設の経緯を村田彰宏スタッフが説明し、茂木雄委員長が「地域に開かれた研修棟として歩んでいきたい」と語った。また、櫻村好夫富士ワイズメンズクラブ幹事が祝辞を述べた。感謝会では、参加者の交流が行われ、田口努横浜YMCA総主事がこれまでの支援に感謝の言葉を述べ、「研修棟での新たな出会いとつながりが豊かに育まれる場」と語った。



▲ゴルフを楽しむ参加者たち

され118人が参加した。大会では高野浩之さん(男子)、松田淑子さん(女子)が優勝し、表彰式で特別賞と合わせて賛助企業や団体、個人などからの献品による賞品と賞状が手渡された。寄せられた基金

92万8千
5百円
(3月14日現在)
は子ども支援基金として用いられる。

### 今年度会員総会 5月26日(土)開催

横浜キリスト教青年会会則第19条に基づき、2018年度横浜YMCA会員総会が5月26日(土)午後5時から湘南とつがYMCAで開催される。これに先立ち総会準備委員会にて高橋建太委員長が選任され準備を進めていく。

会員総会では、2017年度の横浜YMCAの事業、決算報告のほか、2018年度の事業計画・方針、予算案について協議、常議員の選出、会員表彰が行われるほか、特別プログラムが行われる予定。

### 隣人を自分のように 愛しなさい

(マタイによる福音書22章39節)

YMCAをはじめキリスト教主義の学校や団体の根底には「隣人愛」がある。隣人は物理的な距離の隣の人ではない。苦しみや困難の中にある人に寄り添い、自分や自分の家族のように心を通わせることができる人を隣人という。身近な人から、まだ見知らぬ遠い世界の人に向けても、そして自分に攻撃する人や憎みを持つ人にも、自分のように愛しなさいという意味を聖書全体で語っている。

隣人愛を一言で語るのは難しいが、YMCAでは他人事を自分事に変える力とも言っている。最初は、水泳や体

## こもれび 感性を育む

総主事  
田口 努

操、英語などを自分のための学びとしてYMCAにやってくる。どのプログラムにも学ぶ仲間がいるが、例えば水泳で25メートルを初めて泳いで「やった」という自分の喜び

なってくる。まるで自分のことのように人の喜びが自分の喜びになってくる。このような喜びの分かち合いの時を積み重ねていくと、その仲間が苦しみの中にある時に自分のことのように悲しみ、祈ったりするようになる。保護者や仲間と喜びを共有し、互いに互いを認め合う自己肯定感を豊かに育み合う関係を多く積み上げている子は、人への思いの感性が豊かになっていく。YMCAで国際協力や災害支援などの活動を聞き、学ぶ機会の中で、まだ見ぬ遠い世界の人の笑顔が脅かされていることに心を痛める人になっていく。YMCAの全ての活動でこんな感性が豊かに育つことを目指している。

## FLASH NEWS

### 北YMCAの陳祖榮執行長とウエルネススタッフ4人が健康教育事業研修としてベイスイミングや高齢者の水泳指導法などを学ぼうと2月27日から3月4日まで横浜YMCAを訪れた。研修では、横浜YMCAの健康教育部の現状報告や横浜中央YMCAウエルネススポーツクラブでのベイスイミングや高齢者水泳の指導法などについて見学や体験、講義を行うとともに交流を図った。



▲三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジのマリンクラブの子どもたちが募金を呼びかけた



### 神奈川県内の生活困窮者や社会的弱者を支えるネットワークにより、格差や貧困、分断や孤立から、つながりや相互扶助をつくりだすフードバンクの中間組織「一般社団法人フードバンクかながわ」の設立記念フォーラムが3月11日にはまぎんホール(横浜市西区)で開催され約450人が参加した。黒岩祐二県知事のあいさつ後に、地域で活動するNPOや団体の報告があり、最後に役員が紹介され、横浜YMCAのスタッフ高村文子理事が紹介された。

## ワイズ 日本語スピーチコンテスト コーナー 横浜ワイズメンズクラブ

2月23日に横浜中央YMCA 9階チャペルで第5回日本語スピーチコンテストを横浜YMCA学院専門学校と共催で実施しました。

10人の日本語学科在籍の学生が発表をしました。最優秀賞はカメルーンからの学生に決まりました。参加した学生の出身は、韓国、ベトナム、タイ、カメルーン、台湾などというように多彩で、国際色豊かなコンテストでした。

来年は場所を変えて横浜市民の目に触れやすい、よく知られた場所にて開催する計画です。

このように横浜ワイズメンズクラブは、YMCAとともに、YMCAをサポートして、広く社会のために活動しています。

(横浜ワイズメンズクラブ会長 舟田 正夫)

横浜中央YMCA ☎045(662)3721  
 横浜北YMCA ☎045(433)4321  
 藤沢YMCA ☎0466(26)1151  
 横須賀YMCA ☎046(834)5811  
 川崎YMCA ☎044(932)2031  
 厚木YMCA ☎046(244)4181  
 YMCA ACT ☎045(316)1881  
 鎌倉YMCA ☎0467(24)7859  
 YMCA山手台センター ☎045(813)1022  
 湘南とつかYMCA ☎045(864)4768  
 金沢八景YMCA ☎045(782)3003  
 YMCA東とつかセンター ☎045(392)3747

大和YMCAライフサポートセンター ☎046(264)3192  
 横浜YMCAワークサポートセンター ☎045(867)0090  
 YMCAあつぎ保育園ホサナ ☎046(222)8619  
 YMCA山手台保育園アルク ☎045(813)1022  
 YMCAとつか保育園 ☎045(870)3663

YMCA マナ保育園 ☎045(790)3588  
 YMCAとつか乳児保育園 ☎045(870)3235  
 YMCAつるみ保育園 ☎045(500)5030  
 YMCAかわさき保育園 ☎044(520)1825  
 YMCAいずみ保育園 ☎045(800)3010

YMCA東とつか保育園 ☎045(820)5588  
 YMCA東かながわ保育園 ☎045(440)3763  
 YMCAたかつ保育園 ☎044(281)7833  
 金沢八景YMCA保育園 ☎045(353)5130  
 YMCAオペリン保育園 ☎042(707)9974  
 富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ ☎0544(54)1151  
 三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ ☎046(888)2100  
 鶴見中央YMCA ☎045(508)7800  
 YMCAライフサポートセンター鶴見 ☎045(506)0131  
 YMCAライフサポートセンター関内 ☎045(680)6680  
 本部事務局 ☎045(662)3721

# INFORMATION

## 横浜YMCA



### レクチャー

#### ■イングリッシュセミナー

日時 4月20日(金) 午前10時~正午  
 会場 鎌倉YMCA 201教室  
 テーマ Kumejima Island  
 -It's people and culture-  
 講師 Leslie Lorimerさん  
 参加費 会員1,100円、一般1,400円  
 申込み 鎌倉YMCA ☎0467(24)7859

### キリスト教理解

#### ■聖書からの学び

日時 4月26日(木) 午前10時30分~11時10分  
 会場 湘南とつかYMCA 2階教室  
 講師 堀野浩嗣氏(横浜戸塚バプテスト教会牧師)  
 テーマ 「旧約聖書を読む」  
 参加費 無料  
 問合せ 湘南とつかYMCA ☎045(864)4768

#### ■バイブルカフェ

日時 4月25日(水) 午後6時30分~7時30分  
 会場 川崎YMCA21教室  
 講師 青木 靖氏(登戸エクレスキリスト教会副牧師)  
 テーマ 「マルコによる福音書を読む」  
 参加費 無料  
 問合せ 川崎YMCA ☎044(932)2031

#### ■聖書を読んでみよう会

日時 4月17日(火) 午後6時30分~8時  
 会場 横浜中央YMCA 6階教室  
 テーマ 「ヨハネによる福音書を読む」  
 参加費 無料  
 問合せ 横浜中央YMCA ☎045(307)7556

#### ■聖書に聞く「創世記が語りかけるもの」

日時 4月20日(金) 午前11時~正午  
 会場 横須賀YMCA  
 テーマ 「ヨセフ物語III」

参加費 無料  
 問合せ 横須賀YMCA ☎046(834)5811

### イベント

#### ■富士山YMCAゴールデンウィークファミリーキャンプ

日時 5月4日(金・祝) 午後2時30分集合~6日(日) 午後1時30分解散予定(富士駅・新富士駅より送迎有)  
 会場 富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ(静岡県朝霧高原)  
 対象 4歳以上の子どもを含む家族  
 内容 天体観察、クラフト、ダイヤモンド富士を見よう他(一部選択)  
 参加費 大人(中学生以上)26,500円~、子ども(4歳~小学生)23,500円~(宿泊棟A棟・B棟により異なります)  
 申込み 4月12日(木) までに富士山YMCAへ ☎0544(54)1151

#### ■地球市民育成プロジェクト 第25回国際ボランティアinタイ

日時 8月15日(水)~8月25日(土)  
 会場 タイバヤオセンター(バンコクYMCA)  
 対象 高校1年生~29歳  
 参加費 260,000円程度  
 問合せ 横浜YMCA国際・地域事業 kokusai@yokohamaymca.org

○説明会を5月26日(土) 午後3時~5時に湘南とつかYMCAで行います。

#### ■東日本大震災復興支援チャリティー 福島の子どもたちを招いてプロ野球観戦

日時 5月29日(火) 午後6時開始予定  
 場所 横浜スタジアム  
 参加費 3,500円  
 ○参加費の一部を県内に避難している子どもたちを観戦に招待するために用います。今年は東北楽天ゴールデンイーグルス戦です。

### カルチャー

＜なつかしい童謡や唱歌を歌います＞

#### ■北YMCA うたごえひろば

日時 4月10日(火) 午後12時40分~2時30分  
 対象 一般(熟年世代の皆さん)  
 会場 北YMCA 3階スタジオ  
 参加費 300円  
 申込み 北YMCA ☎045(433)4321

#### ■湘南とつかYMCA うたごえひろば

日時 4月17日(火) 午後2時~4時  
 対象 一般(熟年世代の皆さん)  
 会場 湘南とつかYMCA 1階ホール  
 参加費 300円  
 申込み 湘南とつかYMCA ☎045(864)4768

#### ■厚木YMCA うたごえひろば

日時 4月24日(火) 午後2時~3時30分  
 対象 一般(熟年世代の皆さん)  
 会場 厚木YMCA  
 参加費 500円  
 申込み 厚木YMCA ☎046(222)8619

#### ■藤沢YMCA うたごえひろば

日時 4月20日(金) 午後1時15分~3時15分  
 対象 一般(熟年世代の皆さん)  
 会場 藤沢YMCA  
 参加費 300円  
 申込み 藤沢YMCA ☎0466(26)1151

#### ■生麦地域ケアプラザ うたごえひろば

日時 4月18日(水) 午後1時30分~3時30分  
 対象 一般(熟年世代の皆さん)  
 会場 生麦地域ケアプラザ(横浜YMCA運営委託) 2階多目的ホール  
 参加費 100円  
 申込み 生麦地域ケアプラザ ☎045(510)3411

### 子育て支援

#### ■横浜子育てサポートシステム入会説明会

日時 4月14日(土)、25日(水) 午前10時30分~11時30分  
 会場 中区地域子育て支援拠点のんびりんこ  
 対象 横浜市子育てサポートシステムに入

会を考えている方  
 問合せ 横浜市子育てサポートシステム中区支部事務局 ☎045(663)0676

### 学校説明会

#### ■横浜YMCA学院専門学校作業療法科

日時 4月21日(土) 午前10時~正午  
 内容 学校説明会  
 申込み ☎045(641)5785

#### ■YMCA健康福祉専門学校

日時 4月28日(土) 午前10時~正午、\*午後2時~5時

内容 AO入試説明会 \*学校説明会  
 申込み ☎046(223)1441

#### ■横浜YMCAスポーツ専門学校

日時 4月14日、\*21日(土) 午前9時30分~12時30分

内容 学校体験(YMCA保育園体験、\*ダンス・マシントレーニング体験)

申込み ☎045(864)4990  
 ※日程や内容の詳細についてはwww.yokohamaymca.ac.jpをご覧ください。

### ボランティア情報

#### ■子育て応援ボランティア説明会

日時 4月12日(木) 午後2時~3時  
 会場 のんびりんこ研修室  
 問合せ 中区地域子育て支援拠点のんびりんこ ☎045(663)9715

○地域での子育てをお手伝いいただける方を募集しています。

#### ■ヘルシーキッズデー ボランティア

日時 4月30日(月・振替休日)  
 内容 各YMCAで行われるヘルシーキッズデーのイベント運営のボランティア  
 申込み 4月16日(月) までに各YMCA健康教育部までお申込みください。連絡先は4面上をご参照ください。  
 ○子どもの健康づくりのお手伝いをしてみませんか。詳細は各YMCA健康教育部へ



今後は、学校生活で学んだこと、感じたことを忘れずに、YMCAの専門学校生としての誇りをもって作業療法士として人に寄り添い、努めていきたいと思えます。

私は、高校時代に部活動で膝を負傷しリハビリを受けた経験から、リハビリ関係の仕事に就きたいと考え、高校生の頃に学校説明会にて「作業療法士」という職種を知り、患者様の好きな作業が治療として用いられるという驚きと、身体だけでなく心もケアするという面に魅力を感じ、この職業を志すようになりました。

横浜YMCA学院専門学校で過ごした学生生活を振り返ると、人間的にも成長できることがとても多くあったと感じています。1・2年生の頃はまだ高校生気分が抜け切れず、いまは3・4年生になると、グループワークや実習を通して、自分の課題と真摯に向き合うことの大切さや、その課題を次につなげていくことが自分にとっての大きな成長につながるということを実感しました。

高校生の頃から憧れていた「作業療法士になる」という気持ちは、学年が上がるごとに強まっていき、実際に働くことへの自覚や責任感も芽生えるようになりました。決して平

坦な道ではなく、辛い思い、辞めたいと思うことも多々ありましたが、卒業することができたのは、支えてくださった先生方や、何より同じ目標に向かって切磋琢磨し合える仲間のおかげだと感じています。とくに、普段の授業で分からないことがあった場合にも、放課後にクラスメイトで集まり話し合う機会が得られたことや、相談に乗ってくださる先生方がいたことで、自分一人を抱えることなく、いくつもの壁を乗り越えられたのではないかと実感しています。実習では、自ら積極的に行動し、考えを発信していく重要性を改めて感じることもでき、さらに作業療法士として働くことのイメージが明確になりました。患者様だけでなく、職場の方との円滑なコミュニケーションの方法も学ぶことができました。



▲学びを共にした仲間と(右から2人目)

## My Y Story

# 自分が成長することができた YMCAの専門学校での学び

横浜YMCA学院専門学校 作業療法科 卒業生

三原 奈緒美